

特集

町長新春インタビュー

# 3期目の展望を語る

## 2022年を振り返って

——新年明けましておめでとうござい  
ます。まずは町民の皆さまに一  
言お願いします。

新年明けましておめでとうござい  
ます。町民の皆さまにおかれまして  
は、ご家族ご友人おそろいで和やか  
な新春を迎えられましたこと、心  
よりお慶び申し上げます。新たに迎  
えました新年も引き続き町民の皆さま  
とともに、与謝野町の豊かな発展  
のために尽力してまいります。

難しい時代を切り開いていくに  
は、町民の皆さまとの協働が何より  
も大切であり、強い信頼関係によっ  
てでしかできないものと考えていま  
す。本年も町民の皆さまの信頼を基  
本に、行政運営を真摯に進めていき  
ますので、よろしくお願ひ申し上げ  
ます。

——3期目の山添町政が始まりま  
した。選挙を振り返っていかがで

を聞く機会がありました。講演の中  
にもこのキッズステーション事業を  
取り上げていただいていたましたし、  
高い評価をいただいている事業で  
す。今後においても、地域の皆さま  
のご協力を得ながら、子どもたちへ  
の支援を温かいものにしていきたく  
と考えています。

——昨年は新たにオミクロン株の  
発生に加え、国際情勢の不安定化か  
ら電気料や物価が高騰しました。そ  
の対応策について教えてください。

昨年は、新型コロナウイルス感染  
症対策として「ワクチン接種事業を  
強力に前進させる」「社会的な活動  
を回復基調にのせていく」「経済活  
動に従事されている方々に対する支  
援策」について考え続けた1年で



でも、ワ  
クチン接  
種につい  
ては、昨  
秋ころか  
ら以前よ  
りも接種  
率が低下  
気味でし  
た。その

しょうか。

5日間の限られた選挙期間の中  
で、お子さんから高齢者に至るまで、  
そして障害のある方もない方も、外  
国人の方とも触れ合うことができま  
した。この期間を通して、改めて町  
民の皆さまの思いを受けとめること  
ができました。また、コロナ禍にあつ  
たとしても、前を向いて生活や事業  
を前進させておられる姿を見ることが  
でき、私も勇気づけられました。  
この期間中に考えたこと、そして皆  
さまから受けとった思いを基本に、  
現在、行政運営を行っています。

——就任当初から子育て政策に力  
強く取り組んでこられました。今年  
の子育て政策について教えてください。

子ども子育て支援策については、  
妊娠期から出産、そして育児に至る  
までさまざまな制度・施策を行って

状況の中で、希望する方々に対し適  
切にワクチン接種事業を進めていく  
ことに併せて、ワクチンを接種する  
か否かの判断について、住民の皆さま  
に対してしっかりと情報提供を行  
っていかねければならないとの考  
えの中で事業を進めてきました。

また、ロシアやウクライナを起  
点とする国際情勢の不安定化によつ  
て、電力需要の逼迫や物価が高騰す  
る中、経済的な支援を関係機関と連  
携しながら行ってきました。この不  
透明な経済情勢を踏まえ、今後にお  
いても補正予算の編成も行いなが  
ら、経済対策を行っていきたくと思  
っています。

——スポーツや文化的な活動が再  
開されてきましたが、今後の課題は  
ありますか。

町民の皆さまが社会的な活動を再  
開されているということは、大変喜  
ばしいことです。その背景には、行  
動制限がなされていないことがある  
と思います。一方で、この数年間に  
わたる新型コロナウイルス感染症の  
影響を受けて活動自体が消滅、ある  
いは再開に至っていないものもある  
と思います。これは深刻に受け止め  
なければなりません。改めて

います。昨年は、特に出  
産・育児を応援していく  
ため、1児あたり10万円  
の支援金を給付する「出  
産準備金応援事業」を創  
設しました。今後は財政  
的な支援に併せて、子育  
て環境を充実させていき  
たいと考えています。特  
に、野田川地域における  
認定こども園の整備計画  
を早期にまとめたいです。また、  
既存のこども園や保育所などにおい  
ても、より一層充実した保育、幼児  
教育を提供できるように、先生方と  
ともに尽力してまいります。

——野田川地域のこども園整備の  
進捗状況や今後について教えてください。

昨年の選挙において、野田川地域  
の認定こども園の設置場所につい  
て、既存のこども園や保育所の用地  
を基本として考えていきたいと申し  
上げました。昨年の春から役場内  
の検討を進めており、おおよその整  
備計画をまとめていくための前提を  
形成することができました。今後、  
タイミングを図りながら関係する皆  
さまに説明をしていく中で、来年度

行政として社会的な集まりを意識的  
に作っていく必要があると思いま  
す。とりわけ一人暮らしの高齢者の  
方、なかなか社会的な活動に参画で  
きない状況にある方などに対して、  
社会的な活動を支えていくための工  
夫を、関係機関の皆さまと協力しな  
がら進めていかねければならないと  
考えています。

——住民悲願の主要地方道宮津養  
父線岩屋峠（第一工区）が完成しま  
した。

主要地方道宮津養父線岩屋峠の改  
良促進については、岩屋地域をはじ  
めとする皆さまの願いでした。令和  
4年11月19日には第一工区の開通を  
記念して、記念式典を開催しました。  
この道路改良においては、数十年に  
わたる粘り強い要望活動があったこ  
そ事業化がなされ、そして第一工区  
の開通となりました。この  
ように、町民起点の  
事業を前に進めて  
いくことの難しさ  
と同時に、喜びが  
あったと思っていま  
す。引き続き第二工区の工事を迅速  
に進めていくことができるよう尽力  
してまいります。



キッズステーション「にこちゃん」の様子

のどこかのタイミングで関連する予  
算提案ができればと考えています。

——子どもの居場所づくり「キッ  
ズステーション」が増えていますか。  
が、どのように考えていますか。

地域で子どもたちの居場所を作っ  
ていく取り組みについても強力で推  
進してまいります。地域社会の動向が  
変化し、地域で子どもたちを見るこ  
とが難しくなってきた中で、改  
めて地域の中に子どもたちの居場所  
ができつつあることは、極めて画期  
的なことです。しかも、地域の皆さ  
まのご協力によって成立しているこ  
とを考えたときに「与謝野町の皆さ  
まは、子どもたちに対してなんて優  
しい考えをお持ちなんだろう」と思  
います。また、昨秋に府知事の講演

——最後に町民の皆さまへメッ  
セージをお願いします。

昨年の春に3期目の当選をさせて  
いただきました。選挙期間を通して  
町民の皆さまに教えていただいた与  
謝野町の「潜在力」「可能性」「希  
望」を、大きく育んでいく年にして  
まいります。そのためには、町民の  
皆さまのこれまで以上のまちづくり  
への参画が必要です。ぜひできる活  
動ができる範囲で結構でございます  
ので、引き続き行っていただきたい  
と思っています。職員一同、町民の  
皆さまの福祉の向上、そして幸福実  
現のために尽力をしていく所存でござ  
いますので温かく、そして厳しく  
ご指導いただきますよう、よろしく  
お願い申し上げます。



※この記事は、与謝野町有線テレビ制作番組「町長・議長の年頭あいさつ」の収録をもとに編集しています